

## 2024年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年5月14日

上場取引所 東

上場会社名 日精エー・エス・ビー機械株式会社

コード番号 6284 URL <https://www.nisseiasb.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤原 誠

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 山本 雄一 TEL 0267-23-1560

四半期報告書提出予定日 2024年5月15日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年9月期第2四半期の連結業績 (2023年10月1日～2024年3月31日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第2四半期	16,648	7.2	3,432	6.0	3,473	63.7	2,603	73.5
2023年9月期第2四半期	15,523	2.9	3,238	14.0	2,121	△48.9	1,500	△50.5

(注) 包括利益 2024年9月期第2四半期 3,058百万円 (ー%) 2023年9月期第2四半期 207百万円 (△95.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第2四半期	173.64	ー
2023年9月期第2四半期	100.08	ー

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年9月期第2四半期	71,768	51,643	71.9
2023年9月期	70,195	50,384	71.7

(参考) 自己資本 2024年9月期第2四半期 51,605百万円 2023年9月期 50,344百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期	ー	0.00	ー	120.00	120.00
2024年9月期	ー	0.00			
2024年9月期(予想)			ー	120.00	120.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年9月期の連結業績予想 (2023年10月1日～2024年9月30日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,200	6.9	7,800	8.8	7,900	13.6	5,550	9.1	370.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2024年9月期2Q	15,348,720株	2023年9月期	15,348,720株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2024年9月期2Q	357,440株	2023年9月期	357,391株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2024年9月期2Q	14,991,286株	2023年9月期2Q	14,991,375株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本書に記載した業績予想数値等は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき判断した見通しであり、実際の業績等は、様々な要因により異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

当社は、2024年5月27日に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算補足説明資料については、決算説明会までに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(四半期連結損益計算書) .....	7
(四半期連結包括利益計算書) .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(会計方針の変更) .....	10
(セグメント情報) .....	11
3. 補足情報 .....	12
受注及び販売の実績 .....	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2023年10月1日～2024年3月31日）におきましては、世界的なインフレ進行と金融引き締め政策に伴う景気減速懸念の高まりや、中東情勢の緊迫化及びウクライナ情勢の長期化による地政学リスクの増加等により、世界経済は依然として先行き不透明な状況が続いております。

一方で、当社グループの属するストレッチブロー成形機業界におきましては、不安定な政治経済情勢に伴う設備投資意欲の減退懸念はあるものの、安全で衛生的なプラスチック容器の需要は底堅いものがあり、事業活動は今後とも堅調に推移すると思われまます。

こうした環境下、当社グループは「人と社会に豊かさを提供する」「高い技術、サービスで恒久的な存続を追求する」との経営理念に基づき、中長期的な成長発展方針を継続し、事業規模の拡大を見据えた各種戦略的施策の展開に注力しました。

技術面では、当社の得意領域である非飲料容器分野において、主力製品である1ステップ機の競争力強化に努めるべく、「ゼロ・クーリングシステム（生産性と容器品質の向上を図る画期的な成形手法）」及び「クイックモールドチェンジ（金型交換時間短縮仕様）」の更なる改良に努めました。また、重点市場である飲料容器分野においては、大量生産から中小ロット生産のあらゆる顧客ニーズに応えるべく、「PF36シリーズ」の機能向上及び中小ロット生産向けの新型機の開発を進めております。更に、顧客の生産性向上をサポートするDX戦略においては、成形機の制御・モニタリングシステムである「Vision1」の提案を進め、顧客とのつながりを強化しております。

販売面では、前期に創設した営業本部の指揮のもと、世界各国の営業情報の有機的連携を図り、グローバル顧客への提案力強化に努めた結果、主力の「ストレッチブロー成形機」を中心に、受注高が大きく増加しました。また、安定収益の柱となる「金型」及び「部品その他」の受注は引き続き好調を維持しております。なお、2023年10月に日本本社において開催した社内展示会には、世界40ヶ国から150社・400人の顧客が来場し、4年ぶりの開催として大好評のもとに終わっており、受注獲得に向け、引き続き営業活動を強化して参ります。

生産面では、前期に完了したインド工場への大規模設備投資により生産能力が増強された結果、インド工場への大型機及び新型機の生産移管が進展しました。現在は、従来から高水準であった金型部品の生産に加え、機械部品の生産状況も向上しており、当社の企業競争力の源泉であるインド工場の有効活用を今後一層進めて参ります。なお、日本本社近隣に用地取得済みである新工場の建設計画につきましては、グローバルでの生産最適の観点から引き続き検討を進めて参ります。

環境対応技術では、「CO2削減」及び「プラスチックごみ削減」の2つのテーマにおいて研究開発を進めております。これらのテーマは前述の社内展示会での顧客の関心も高く、業界のリーディングカンパニーとして、環境対応技術で持続可能な社会の実現に貢献して参ります。なお、同技術の詳細につきましては、2023年9月期の決算説明会資料（P. 24）に記載しております。

([https://ssl4.eir-parts.net/doc/6284/ir\\_material\\_for\\_fiscal\\_ym/146727/00.pdf](https://ssl4.eir-parts.net/doc/6284/ir_material_for_fiscal_ym/146727/00.pdf))

受注及び販売成績につきましては、前期に続き、海外展示会への積極的な出展と、前述の社内展示会における提案強化が実を結び、受注環境は引き続き好調に推移しました。その結果、当期の受注高は20,592百万円（前年同期比125.3%）に達し、第2四半期としては過去最高を更新しました。受注残高も18,330百万円（前年同期末比117.0%）と過去2番目の高水準を記録しました。また、売上高につきましても、豊富な受注残高を順調に消化した結果、16,648百万円（前年同期比107.2%）と、第2四半期としては過去2番目の高さとなりました。

利益面につきましては、売上規模の増加に加え、販売管理費の比率を前年同期並みに留めたことで、営業利益は3,432百万円（同106.0%）と増加しました。また、前期に比べ為替相場が安定的に推移したことで、外貨建て資産の評価差損が生じなかったことにより、経常利益は3,473百万円（同163.7%）と大幅増益となりました。その結果、親会社株主に帰属する四半期純利益も2,603百万円（同173.5%）と大幅増益となりました。

当第2四半期連結累計期間における損益の状況は次のとおりであります。

(単位：百万円)

	売上高	売上総利益	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益
当第2四半期	16,648	7,869	3,432	3,473	2,603
前第2四半期	15,523	7,365	3,238	2,121	1,500
前年同期比	107.2%	106.8%	106.0%	163.7%	173.5%

## 製品別売上高状況

(単位：百万円)

	ストレッチブロー成形機	金型	付属機器	部品その他	合計
当第2四半期	7,332	6,067	703	2,545	16,648
前第2四半期	7,834	4,510	1,036	2,142	15,523
前年同期比	93.6%	134.5%	67.9%	118.8%	107.2%

製品別の売上高状況につきましては、安定収益の柱となる金型（前年同期比134.5%）及び部品その他（同118.8%）が米州を筆頭に引き続き好調を維持しております。一方で、ストレッチブロー成形機（同93.6%）及び付属機器（同67.9%）につきましては、豊富な受注残高の売上実現が下期以降に予定されていることもあり、前年同期を下回っております。

セグメントの業績は次のとおりであります。

## セグメント（地域）別受注状況

(単位：百万円)

	米州	欧州	南・西アジア	東アジア	合計
当第2四半期	6,633	3,677	5,629	4,651	20,592
前第2四半期	4,620	3,701	5,334	2,782	16,439
前年同期比	143.6%	99.3%	105.5%	167.1%	125.3%

## セグメント（地域）別売上高状況

(単位：百万円)

	米州	欧州	南・西アジア	東アジア	合計
当第2四半期	5,997	3,282	5,313	2,055	16,648
前第2四半期	5,352	3,017	4,783	2,369	15,523
前年同期比	112.1%	108.8%	111.1%	86.7%	107.2%

## セグメント（地域）別利益

(単位：百万円)

	米州	欧州	南・西アジア	東アジア	合計
当第2四半期	976	453	1,332	2,171	4,933
前第2四半期	566	200	634	2,971	4,373
前年同期比	172.4%	226.4%	209.8%	73.1%	112.8%

## ① 米州

堅調な中南米地域に加え、北米でも機械需要が回復した結果、当期の受注高は6,633百万円（前年同期比143.6%）と第2四半期として過去最高となりました。売上高につきましても、豊富な受注残高を着実に消化した結果、5,997百万円（同112.1%）と増収となりました。セグメント利益も増収効果等により976百万円（同172.4%）と増益となりました。

## ② 欧州

経済環境には不透明感が見られるものの、生活必需品に根差した当社需要は堅調なため、当期の受注高は3,677百万円（前年同期比99.3%）と高水準で推移しております。売上高につきましても安定した状態を維持しており、3,282百万円（同108.8%）と増収となりました。また、セグメント利益も前期の展示会費用の負担解消により453百万円（同226.4%）と増益となりました。

## ③ 南・西アジア

東南アジア市場は市況回復に時間を要しているものの、中東及びインド市場が堅調に推移した結果、当期の受注高は5,629百万円（前年同期比105.5%）と増加しました。売上高につきましても、インド市場の牽引により5,313百万円（同111.1%）と増収となりました。セグメント利益も増収効果等により1,332百万円（同209.8%）と増益となりました。

## ④ 東アジア

日本市場での大口案件（PF36）の受注が引き続き好調に推移したことにより、当期の受注高は4,651百万円（前年同期比167.1%）と第2四半期として過去最高となりました。一方、売上高につきましても、昨年度に受注した大口案件の出荷が下期以降に予定されていることもあり、2,055百万円（同86.7%）と減収となり、その結果、セグメント利益も2,171百万円（同73.1%）と減益となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

(単位：百万円)

	流動資産	固定資産	流動負債	固定負債	純資産
当第2四半期	52,581	19,187	11,326	8,798	51,643
前連結会計年度	50,699	19,496	10,265	9,545	50,384

当第2四半期連結会計期間末（以下、当期末）の流動資産は、前連結会計年度末（以下、前期末）と比べ1,881百万円増加し、52,581百万円となりました。また、固定資産は、前期末と比べ309百万円減少し、19,187百万円となりました。この結果、当期末の資産合計は、前期末と比べ1,572百万円増加し、71,768百万円となりました。

流動負債は、前期末と比べ1,060百万円増加し、11,326百万円となりました。また、固定負債は、前期末と比べ747百万円減少し、8,798百万円となりました。

純資産は、前期末と比べ1,259百万円増加し、51,643百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ982百万円増加し、24,561百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間（以下、当期間）における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(単位：百万円)

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 の期末残高
当第2四半期	3,738	△343	△2,583	24,561
前第2四半期	4,768	△407	△2,603	20,340

## ① 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前四半期純利益の計上に加え、売上債権の減少や契約負債の増加により運転資本が減少したため、営業活動によるキャッシュ・フローは3,738百万円の収入（前年同期：4,768百万円の収入）となりました。

## ② 投資活動によるキャッシュ・フロー

インド工場における設備維持費用等により、投資活動によるキャッシュ・フローは343百万円の支出（前年同期：407百万円の支出）となりました。

## ③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

借入金の返済や期末配当金の支払い等により、財務活動によるキャッシュ・フローは2,583百万円の支出（前年同期：2,603百万円の支出）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年9月期の連結業績予想につきましては、2023年11月10日公表の予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	23,578	24,561
受取手形及び売掛金	7,589	7,405
商品及び製品	2,499	3,172
仕掛品	7,752	8,369
原材料及び貯蔵品	8,284	7,644
その他	1,078	1,500
貸倒引当金	△82	△72
流動資産合計	50,699	52,581
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,483	5,407
機械装置及び運搬具（純額）	6,813	6,509
土地	1,988	1,988
その他（純額）	3,209	3,104
有形固定資産合計	17,494	17,010
無形固定資産	101	136
投資その他の資産		
投資有価証券	466	513
その他	1,562	1,656
貸倒引当金	△128	△130
投資その他の資産合計	1,900	2,039
固定資産合計	19,496	19,187
資産合計	70,195	71,768

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,043	1,876
短期借入金	1,493	1,493
未払法人税等	309	531
契約負債	3,719	4,689
賞与引当金	680	570
役員賞与引当金	43	19
その他	1,975	2,144
流動負債合計	10,265	11,326
固定負債		
長期借入金	7,611	6,864
役員退職慰労引当金	578	539
退職給付に係る負債	943	1,026
その他	412	367
固定負債合計	9,545	8,798
負債合計	19,811	20,124
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,860	3,860
資本剰余金	3,196	3,196
利益剰余金	41,685	42,489
自己株式	△301	△301
株主資本合計	48,440	49,244
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	201	268
為替換算調整勘定	1,761	2,147
退職給付に係る調整累計額	△59	△55
その他の包括利益累計額合計	1,903	2,361
非支配株主持分	40	38
純資産合計	50,384	51,643
負債純資産合計	70,195	71,768

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
売上高	15,523	16,648
売上原価	8,158	8,779
売上総利益	7,365	7,869
販売費及び一般管理費	4,127	4,436
営業利益	3,238	3,432
営業外収益		
受取利息	120	107
受取配当金	4	5
為替差益	—	8
受取手数料	100	—
その他	44	43
営業外収益合計	271	164
営業外費用		
支払利息	16	19
投資有価証券評価損	—	60
為替差損	1,287	—
訴訟関連費用	79	19
その他	4	24
営業外費用合計	1,387	123
経常利益	2,121	3,473
税金等調整前四半期純利益	2,121	3,473
法人税、住民税及び事業税	435	1,048
法人税等調整額	187	△176
法人税等合計	623	872
四半期純利益	1,498	2,600
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1	△2
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,500	2,603

## (四半期連結包括利益計算書)

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
四半期純利益	1,498	2,600
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	53	67
為替換算調整勘定	△1,347	386
退職給付に係る調整額	1	3
その他の包括利益合計	△1,291	457
四半期包括利益	207	3,058
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	207	3,060
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	△2

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,121	3,473
減価償却費	864	926
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	8	△11
受取利息及び受取配当金	△125	△112
支払利息	16	19
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	60
売上債権の増減額 (△は増加)	926	343
棚卸資産の増減額 (△は増加)	262	△435
仕入債務の増減額 (△は減少)	572	△286
契約負債の増減額 (△は減少)	665	871
その他	1,095	△368
小計	6,407	4,480
利息及び配当金の受取額	113	115
利息の支払額	△13	△21
法人税等の支払額	△1,740	△836
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,768	3,738
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△378	△281
無形固定資産の取得による支出	△21	△53
投資有価証券の取得による支出	△10	△10
その他	3	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△407	△343
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△1,058	△746
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△1,497	△1,796
その他	△46	△39
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,603	△2,583
現金及び現金同等物に係る換算差額	△605	171
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,151	982
現金及び現金同等物の期首残高	19,188	23,578
現金及び現金同等物の四半期末残高	20,340	24,561

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

## (セグメント情報)

## I 前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	米州	欧州	南・西アジア	東アジア	計		
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	5,352	3,017	4,783	2,369	15,523	—	15,523
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	5,352	3,017	4,783	2,369	15,523	—	15,523
セグメント間の内部 売上高又は振替高	40	22	4,195	8,013	12,271	△12,271	—
計	5,392	3,040	8,979	10,382	27,794	△12,271	15,523
セグメント利益	566	200	634	2,971	4,373	△1,135	3,238

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,135百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,410百万円、セグメント間取引消去274百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	米州	欧州	南・西アジア	東アジア	計		
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	5,997	3,282	5,313	2,055	16,648	—	16,648
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	5,997	3,282	5,313	2,055	16,648	—	16,648
セグメント間の内部 売上高又は振替高	27	10	5,664	9,142	14,844	△14,844	—
計	6,025	3,292	10,977	11,197	31,493	△14,844	16,648
セグメント利益	976	453	1,332	2,171	4,933	△1,501	3,432

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,501百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,448百万円、セグメント間取引消去△52百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 3. 補足情報

## 受注及び販売の実績

## ① 受注実績

製品別	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)		前年同期比	
	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (%)	受注残高 (%)
ストレッチブロー成形機	8,087	8,421	11,069	10,680	136.9	126.8
金型	5,495	6,195	5,634	5,952	102.5	96.1
付属機器	737	877	1,175	1,353	159.4	154.3
部品その他	2,118	173	2,712	343	128.0	198.5
合計	16,439	15,666	20,592	18,330	125.3	117.0

セグメント別	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)		前年同期比	
	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (%)	受注残高 (%)
米州	4,620	3,878	6,633	5,346	143.6	137.9
欧州	3,701	3,043	3,677	2,531	99.3	83.2
南・西アジア	5,334	4,479	5,629	4,785	105.5	106.8
東アジア	2,782	4,265	4,651	5,666	167.1	132.9
合計	16,439	15,666	20,592	18,330	125.3	117.0

(注) なお受注高の計算に際しては、前期以前に受注した案件のキャンセルは前期末受注残高より控除しております。

## ② 販売実績

製品別	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)		前年同期比(%)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
ストレッチブロー成形機	7,834	50.5	7,332	44.1	93.6
金型	4,510	29.1	6,067	36.4	134.5
付属機器	1,036	6.7	703	4.2	67.9
部品その他	2,142	13.7	2,545	15.3	118.8
合計	15,523	100.0	16,648	100.0	107.2

セグメント別	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)		前年同期比(%)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
米州	5,352	34.5	5,997	36.0	112.1
欧州	3,017	19.4	3,282	19.7	108.8
南・西アジア	4,783	30.8	5,313	31.9	111.1
東アジア	2,369	15.3	2,055	12.4	86.7
合計	15,523	100.0	16,648	100.0	107.2